



平成 30 年 10 月 3 日



## 「静岡県立吉原林間学園 見学ツアー」を開催しました

(吉原林間学園)

平成 30 年 9 月 5 日 (水)・10 日 (月) に「静岡県立吉原林間学園 見学ツアー」を開催しました。県内外の大学 (大学院) で心理・福祉を学ぶ学生に参加いただき、施設の様子や職員の仕事内容について見ていただき聞いていただきました。参加された学生の皆様、開催に御協力いただいた大学関係者の皆様、ありがとうございました。

### 1 開催日

平成 30 年 9 月 5 日 (水)・10 日 (月) 13 時 30 分～16 時 30 分

### 2 参加対象

大学 (大学院) で心理又は福祉の勉強をしており、県の心理職・児童福祉職や児童福祉施設の仕事に関心のある学生

### 3 参加募集

#### (1) 募集方法

大学 (心理・福祉関係の学部・学科のある) への案内通知の送付、ホームページへの掲載 (県健康福祉部等)、大学関係者に対する個別連絡

(2) 募集期間 平成 30 年 7 月 11 日 (水)～8 月 20 日 (月)

### 4 実施日程

13:30	JR 富士駅集合 (新富士駅は 13:20)、マイクロバスにより学園へ
14:00	県職員、心理職・児童福祉職、採用試験等の概要説明
14:20	施設の概要説明、施設見学
15:20	職員とのフリートーク (2 グループに分かれて実施) ・20～30 歳代の職員 (心理職・児童福祉職) が進行
16:00	終了、マイクロバスにより駅へ
16:30	JR 富士駅解散 (新富士駅は 16:40)

### 5 参加学生数

22 名 (5 日: 11 名、10 日: 11 名)

性別	男性 5 名、女性 17 名
内訳	短大 2 名 (1 年) 大学 19 名 (1 年: 2 名、2 年: 13 名、3 年: 4 名) 大学院 1 名 (2 年)
専攻	心理: 6 名、福祉: 16 名



## 《参加学生に対するアンケート調査結果（見学ツアー終了後実施）から》

### 1 見学ツアー参加の目的

① 大学の勉強の参考としたいため	2名
② 将来の進路を考える上で参考としたいため	17名
③ ①と②の両方	3名



### 2 将来の意向について（静岡県職員の採用試験を受験する希望）

① 受験したい 4名	② できれば受験したい 9名	③ わからない 9名
------------	----------------	------------

### 3 参加学生の感想・意見（抜粋）

#### （1）施設（児童心理治療施設）について

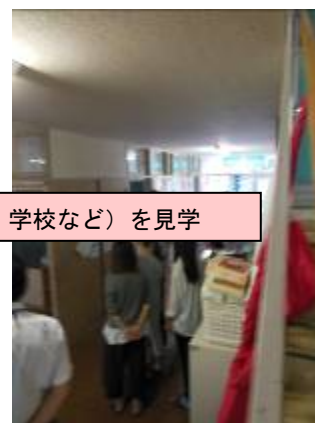
- ・「社会的養護」という授業の中で、児童心理治療施設について大まかに学びましたが、詳しい概要が知ることができました。もっと知ろう、知りたいという気持ちが強くなりました。
- ・施設の中をかなり詳しく説明、案内していただけて参考になった。
- ・学校の授業で聞いた内容で関心を持ったのですが、やはり実際に見てみることで想像とは違う実態を知ることができました。ありがとうございました。
- ・施設の概要の説明や見学・フリートーク全体を通して、吉原林間学園について体験的に知ることができ、よかったです。
- ・施設見学をした時に食堂、寮など1つ取ってみても様々な工夫がされているんだということを生で見ても思いました。私はこういった施設に見学、体験ともに来たのが初めてであったので、とても新鮮な気持ちになりました。来て良かったです。
- ・大学で習うことと現場での状況は全く違うことが分かった。授業で習っているだけでは、いざ現場にでたときに全く仕事ができないと思うので、色々な施設に見学に行き、今の福祉の状況を知らなければならないと感じた。



県職員（心理職・児童福祉職）の仕事等について説明



施設の特徴や心理治療、子どもの様子等について説明



施設内（寮、心理治療室、食堂、体育館、学校など）を見学

## (2) 職員の話を聞いて、話をして

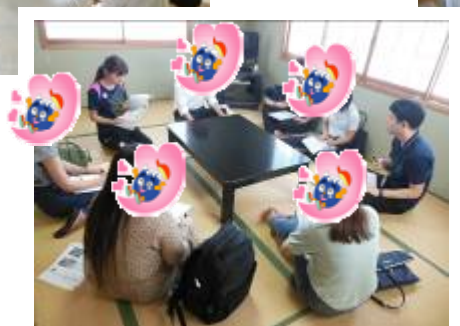
- ・職員の方からフリートークで色々お伺いできる機会があったのが一番良かったです。いろいろな自分の疑問も解決したり、知らなかったお話を聞けたりして良かったです。
- ・実際に仕事の様子を聞かせていただいて、大学の勉強とは全く違うなと思いました。きめられた範囲の中での仕事ということではなく、自主的に考え動くものなのだとわかって良いイメージが増えた。
- ・案内してくれた職員の方が体験した話は、ケースに生じて対処すべき行動の詳しいものであったため、大学では学べないものであった。
- ・実際に心理職の現場を見たことがなかったので、とても良い経験となりました。大学院まで行かなければ心理職には就けないと思っていたので希望が見えました。
- ・心理職はよく職がないと言われていて、具体的に何があるのかということが分からなかったが、今日、この学園で行っている仕事や県の職員がどのような仕事を行っているのかが分かって、自分もこういう仕事がしたいなという目標ができた。
- ・児童相談所で働きたいと思っていたので、どのようなルートでなれるのか、又、県職員となった場合にどのような所に配属されるのかが分かり、とてもためになりました。
- ・就職先を決めるにあたり、とても参考になりました。ありがとうございました。

## (3) 見学ツアー等に対する参加学生からの意見

- ・このような見学ツアーをもっと開催してほしいです。講義で聴いているだけでなく実際に自分の目でどんな職場なのかを見てみたいです。又、ボランティアなどでも福祉職に携われる機会があれば知りたいです。
- ・今回のような見学ツアーをしていただいてとても良かったので、このような仕事の様子がわかる行事をしてもらおうと自分の将来を考える上で参考になる。
- ・虐待を受けた児童の特徴を提供してもらえたら、今以上に講義での理解が深まるかなと思いました。また、ぜひ毎年見学ツアーを開催して頂きたい。
- ・採用情報やどのような勉強をして職員になったのかを教えてもらいたい。
- ・見学ツアーの紹介を続けてほしい。また、HPにも情報をのせてもらえると下調べや興味のある人が気づきやすくなるのかなと思いました。
- ・このような施設見学を他の施設（児童自立支援施設など）や児相でもやって頂けるととても嬉しいと感じました。



職員（心理職・児童福祉職）  
とのフリートーク



心理職・児童福祉職の  
仕事内容や勤務状況  
などについて質問を  
いただきました。

